



# 第201回 深田研談話会

深田地質研究所では、「地質学およびその関連分野における先端的研究者と、地質・地質工学関係の、特に若手技術者との相互交流の場を設け、交流を通して応用地質学の実践と技術の向上を図る」ことを目的として、「深田研談話会」を開催しております。

## 海と陸から鬼界海底カルデラの実像に迫る

—最新の探査技術から見えてきた縄文の巨大噴火—

### 鈴木 桂子 氏

神戸大学 海洋底探査センター  
客員教授

**講演概要** 九州南方40kmに位置する鬼界カルデラは、2つの島がカルデラの北縁として海上に顔を出し、大部分は海底に没している海底カルデラです。7300年前には南九州の縄文人を一掃するような巨大噴火を起こしました。鬼界カルデラは松本唯一（1943）がその存在を明らかにして以来、陸上部分が主に調査されてきましたが、2016年以降、海底下の調査が始まりました。海と陸の調査から海底カルデラの成り立ち、海底下の構造、噴火現象、マグマ溜まりなどから鬼界カルデラの実像に迫ります。



鬼界海底カルデラの陸上に残されたカルデラ壁とカルデラ内に生まれた硫黄岳と稲村岳（写真提供：鈴木桂子氏）

**日時** 2024年7月12日（金）

15:00～16:30【14:30 開場】

**場所** 深田地質研究所 研修ホール  
& オンライン（Zoomウェビナー）

※会場とオンラインのハイブリッド開催

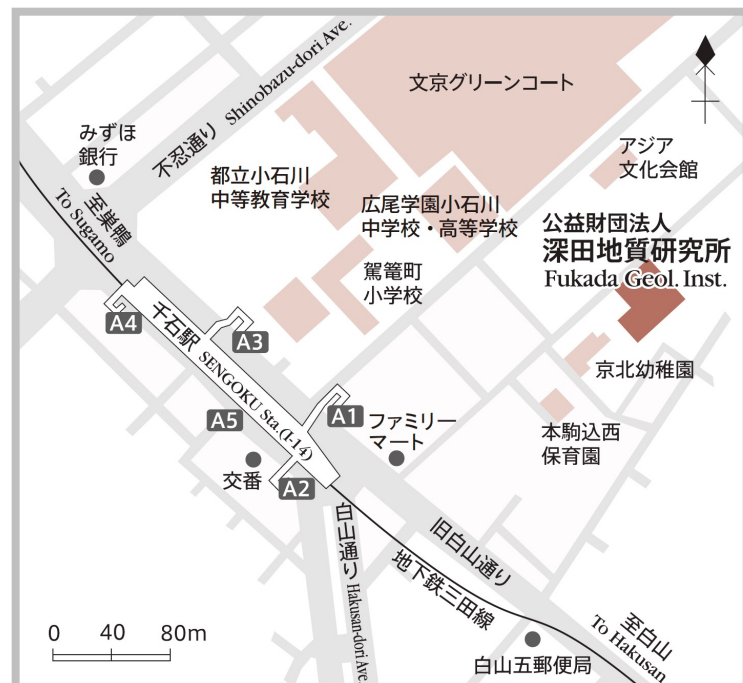
**定員** 会場参加：30名（先着順） **参加費** 無料  
オンライン参加：450名

**CPD単位** 「深田研談話会」は、CPD履修実績として申請できます（1.5単位）

参加ご希望の方は、必ず事前に深田研ホームページよりお申込み下さい。

申込み期間：2024年6月7日（金）～7月5日（金）17:00（定員に達し次第締め切ります）

本イベントに関するお問い合わせ先：fgi\_event@fgi.or.jp



都営地下鉄三田線千石駅下車A1出口より徒歩3分

